

生涯学習だより

問 教育課 生涯学習係 ☎(83)7021

町民大学は、年5回開催しています。その第2回、第3回の様子をレポートします。

学びの秋!

町民大学

【第2回】

古代・松田の瓦について
からさわ瓦窯と千代廃寺

かながわ考古学財団 高橋香さん
を講師にお招きし、古代・松田の瓦づくりについて学びました。

からさわ瓦窯は、1968年の東名高速道建設工事中に見られ、1985年の調査により、登り窯4基と炭窯1基、横穴窯6基が調査されました。

からさわ瓦窯で作られた瓦は、現在の小田原市千代台地にあった千代廃寺で使われていたことが分かっています。大陸から伝わってきた桶巻き作りという製法で作られており、粘土を固めた板の傷が同じことから、からさわ瓦窯で作られたものと分かったそうです。ここで作った瓦は、酒匂川を使って



松田の大切な遺構からさわ瓦窯の3号窯は最明寺公園に移築保存してあります！ぜひ、訪ねてみてください。

水路で運ばれたと考えられています。瓦の文様には各窯の特徴があり、当時の流行などもわかるようです。参加者からは、「からさわ瓦窯は松田町の宝だ!」との声も聞かれました。

【第3回】

書いて『心』を整えよう
写経を体験

令和5年度好評だった「写経体験」の講座を令和6年度も福昌院住職平賀康雄さんに講師をお願いして開催しました。講義の中で「写経は、意識を集中することで心がとても安らぎ、落ち着いてくる。前頭葉が刺激され、本来の自分を取り戻す力がある。」と話されました。

参加者からは「平穏と充足感を味わえました」「気持ち良かった」「落ちてよかった」などの感想が寄せられました。



松田文化財探訪

松田の災害史 その7

学校資料から探る 関東大震災①

今号からは、令和5年度の広報でお伝えしきれなかった関東大震災関連について、3回にわたって執筆します。ポイントには「学校資料」です。各種学校に残された資料を学校資料と呼びます。町内の小学校にも学校資料があるので

文化財保護委員 桐生 海正
資料の中には、保存期限を過ぎると処分されてしまうものもありますが、「沿革誌」は「永久保存」とされていることにも安堵しました。

「沿革誌」には、明治6(1873)年5月から昭和7(1932)年度までのことが記されています。関東大震災のところは、「日誌抜萃」とあり、別に記録されていたと思われる校務日誌から内容を転載しています。学校側も震災の記録は後世に伝えていくべきだと考えたのでしょう。9月1日から30日までが特に詳細に書かれています。内容については次回、詳しく紹介します。



「沿革誌」
(松田小学校所蔵)